大雨・強風に備えよう

大雨に対しどのような対策をとれば良いかを知っておくと、いざというときに落ち着いて行動できます。
大雨に関する情報は 10 日先まで入手することができるため、次の対策を図るよう心がけましょう。

❶ 避難場所や避難経路を確認しましょう

日頃からハザードマップを見ておきましょう。

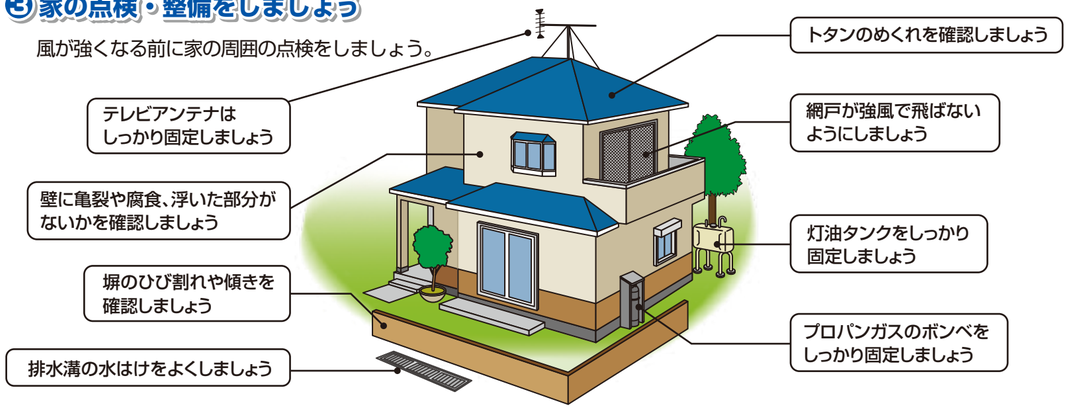
❷ 防災グッズを点検しましょう

非常持出品、非常備蓄品を定期的に確認しましょう。

●大雨の影響で断水する可能性があります。
断水に備え、食料・飲料水の用意や浴槽に水をためるなどの対策を心がけましょう。

❸ 家の点検・整備をしましょう

風が強くなる前に家の周囲の点検をしましょう。



⚠ 危険が近づいてきたら…

気象情報を確認しましょう

外出は控えましょう

植木などは室内に入れましょう

大雨のときは貴重品を2階に置きましょう

強風時は窓ガラスにガムテープを貼りましょう

⚠ 竜巻注意情報が発表されたら…

竜巻注意情報が発表されたときや、竜巻のきざしを発見したら身を守る行動をとりましょう。

竜巻のきざし

急に冷たい風が吹いてきた	真っ黒い雲が近づいてきた	雷の音が聞こえてきた

屋内では…

・窓やカーテンを閉めて窓から離れましょう。
・家の 1 階の窓のない部屋に移動しましょう。
・丈夫な机やテーブルの下に入るなど、身を小さくして頭を守りましょう。

屋外にいたら…

・頑丈な建物の中へ避難しましょう。
・避難できないときは物陰に入って身を小さくしましょう。
・シャッターが開いていたら閉めましょう。
・物置や車庫・プレハブ(仮設建築物)への避難は危険です。

土砂災害を知ろう

いろいろな土砂災害

土砂災害の多くは、雨が原因で起こります。
1 時間に 20 ミリ以上、または降り始めから 100 ミリ以上の降雨量になったら十分な注意が必要です。

が け 崩 れ

雨や雪解け水、地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちる現象

土 石 流

山や川の石や土砂が、大雨などにより、水と一緒になって激しく流れ下る現象

地 す べ り

雨や雪解け水が地下にしみこみ、断続的に斜面が滑り出す現象

❗ こんな前ぶれ現象に注意！

次のような前ぶれ現象を察知した場合は、土砂災害が発生する可能性があります。
直ちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、役場・消防署・警察署へ通報してください。

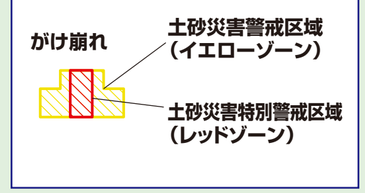
- ●山鳴りがする
- ●沢や井戸の水が濁る
- ●雨が降り続いているのに、川の水位が下がる
- ●川の流れが濁り、流木が混ざり始める
- ●小石がパラパラ落ちてくる
- ●がけから水が湧き出てくる
- ●普段嗅いだことのない腐った土の臭いがする
- ●がけや斜面から水が噴き出す
- ●地面にひび割れができる
- ●斜面のひび割れ、変形がみられる

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）とは

土砂災害警戒区域とは、土砂災害が発生した場合に住民の生命･身体に危害が生じるおそれがある土地を指定した区域で、避難体制の整備や土地利用制限などの規制がかけられます。

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）とは

土砂災害特別警戒区域とは、警戒区域のうち、土砂災害が発生した場合に、建築物が損壊して住民の生命･身体に著しい危害が生じるおそれがある区域で、一定の土地開発が制限され、居室を有する建築物の構造が規制されます。

黒松内町洪水ハザードマップでの表記の仕方